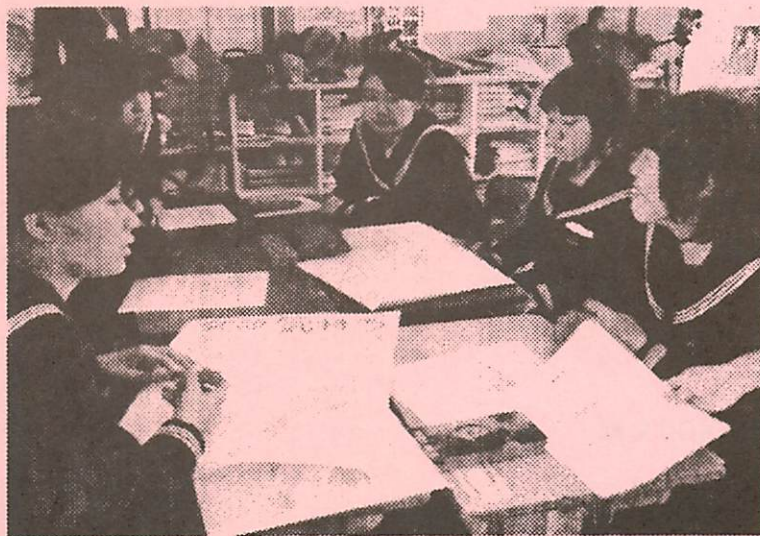
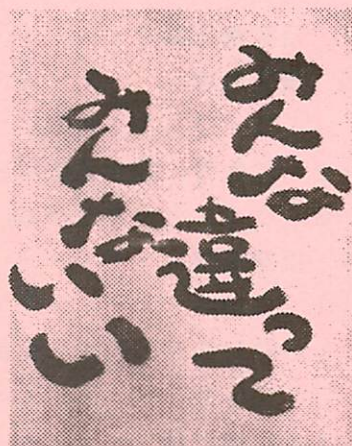
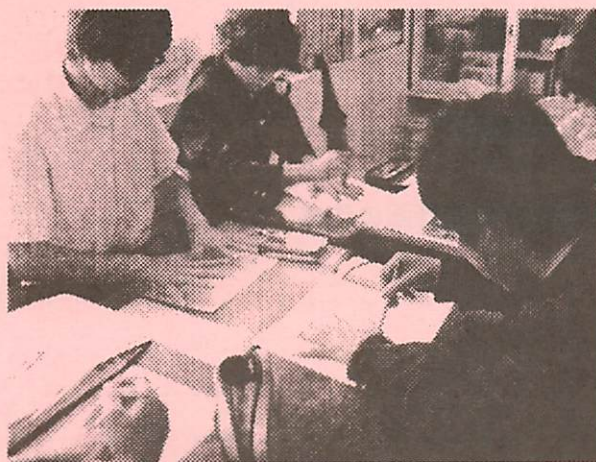


(学校保健)

ライフスキル教育を活用したセルフエスティームを高める授業の工夫
—— クロスカリキュラムによる性教育の実践を通して ——



浦添市立港川中学校

金子 めぐみ



目 次

I	テーマ設定理由	1
II	目指す生徒像	2
III	研究の目標	2
IV	研究仮説	2
1	基本仮説	2
2	作業仮説	2
V	研究構想図	2
VI	研究内容	3~13
1	ライフスキル教育についての理論研究	3~5
2	性教育に関する教材研究	5~9
3	クロスカリキュラムによる性教育年間計画の作成	9~13
VII	授業実践	14~17
1	主題名	14
2	題材設定の理由・生徒観	14
3	指導観	14
4	指導計画	14~15
5	本時の指導	15~17
VIII	研究の考察	17~21
1	作業仮説(1)の検証	17~19
2	作業仮説(2)の検証	19~21
IX	成果と課題	20~21
1	成果	21
2	課題	21
	おわりに	21
	主な参考・引用文献	22



ライフスキル教育を活用したセルフエスティームを高める授業の工夫

—— クロスカリキュラムによる性教育の実践を通して ——

浦添市立港川中学校 金子 めぐみ

【要約】

本研究は、クロスカリキュラムでの性教育の実践を通して、ライフスキル教育を活用することで、セルフエスティームが高まり、自他を大切にし、よりよい人間関係を築いていける生徒を育成することを目指し、授業の工夫を試みたものである。グループワークでの授業は、多様な考え方を出し合うことでお互いの意見を大切にしながら学び合い、よりよい人間関係づくりへとつながった。さらに、クロスカリキュラムによる性教育の実践により、性に関する意識の継続を図ることが可能となり、今後の性教育への効果が期待できる。

キーワード

- ライフスキル教育
- 性教育
- クロスカリキュラム
- セルフエスティーム

I テーマ設定理由

近年、インターネットや携帯電話の普及による性情報の氾濫、価値観の多様化など生徒達を取り巻く社会環境は著しく変化している。

それに伴って、性に関する知識やモラルの低下、性の逸脱行動等、性の問題が深刻化している。その背景には「自分の存在に価値や自信が持てない」といった、セルフエスティームの低下が大きく関わっているのではないかと考える。

平成17年7月27日の中央教育審議会「健やかな体をはぐくむ教育のあり方に関する専門部会」においても「性教育を行う前に、人間関係についての理解やコミュニケーション能力を前提とすべきであり、その理解の上に性教育が行われるべきである。自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を醸成することが重要である」と示されている。

そこで、これまで育まれてきた思いやりの心、自他を尊重する心や態度をもとに、セルフエスティームを高め、日常生活で生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ、効果的に対処するために必要な、意思決定能力と選択行動能力が育成できるライフスキル教育に着目した。

ライフスキル教育は「心の能力」とも言われ、学校教育の基本的目標である「生きる力」「人間力」の形成にも寄与するものであると考えられている。

本校は昨年度から2年間のキャリア教育の研究校に指定されており、将来へ生かしていけるライフスキル教育をすべての教育活動を通して積極的に取り入れ、人間関係形成能力や意思決定能力の育成に力を入れている。

保健室に来室してくる生徒の問題としても、人間関係作りの希薄さや自他を大切にすることができないことから、性の逸脱行動や人間関係のトラブルにもつながっていると思われる現状があり、ライフスキル教育を取り入れての実践が効果的であると考え

る。また、性教育は、保健体育の保健学習、エイズの特設授業、個別指導などで実施しているが、キャリア教育と同様に、保健学習や道徳、特別活動のみならず、すべての教育活動を通して、クロスカリキュラムによる他教科との関連性を明確にしながら、計画的、継続的かつ、実践的に取り組んでいくことが重要だと考える。

以上のことから、セルフエスティームを高め、自分らしく、よりよく生きていく上での基盤となる能力を育成する、ライフスキルを学ぶことにより、「あるがままの自分」を理解し、「欠点も持っているが一生懸命に生きている自分」を肯定的にとらえることができ、他者への思いやりの心も育つであろうと考え、本テーマ「セルフエスティームを高める授業

の工夫～クロスカリキュラムによるライフスキル教育を生かした性教育の実践を通して～」を設定した。

II 目指す生徒像

自他を大切にし、よりよい人間関係を築いていける生徒

III 研究の目標

セルフエスティームを高める為の実践的な授業の工夫を図り、計画的、継続的な性教育の充実が図れるように、クロスカリキュラムによる性教育年間計画を作成し実践する。

IV 研究仮説

1 基本仮説

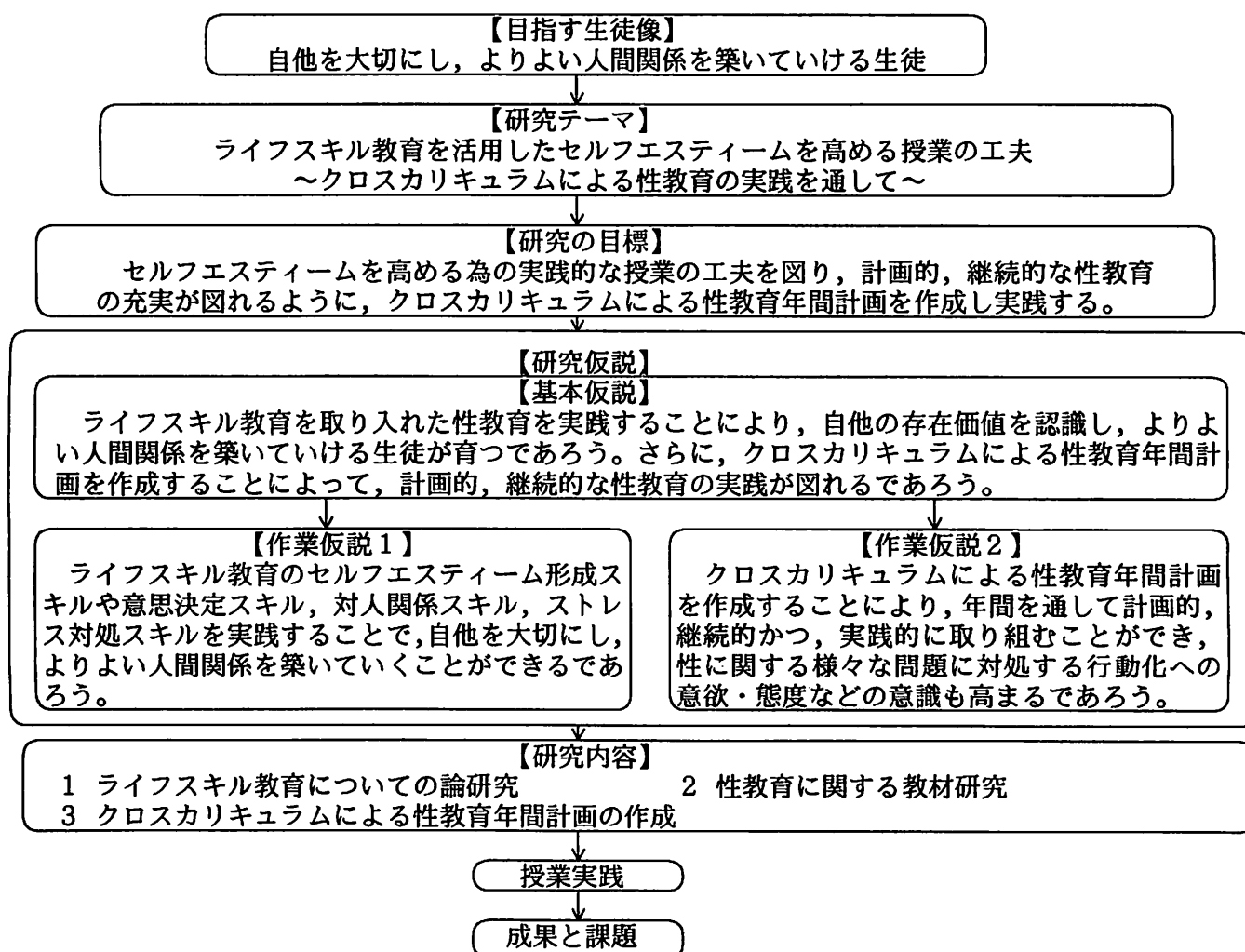
ライフスキル教育を取り入れた性教育を実践することにより、自他の存在価値を認識し、よ

りよい人間関係を築いていける生徒が育つであろう。さらに、クロスカリキュラムによる性教育年間計画を作成することによって、計画的、継続的な性教育の実践が図れるであろう。

2 作業仮説

- (1) ライフスキル教育のセルフエスティーム形成スキルや意思決定スキル、対人関係スキル、ストレス対処スキルを実践することで、自他を大切にし、よりよい人間関係を築いていくことができるであろう。
- (2) クロスカリキュラムによる性教育年間計画を作成することにより、年間を通して計画的、継続的かつ、実践的に取り組むことができ、性に関する様々な問題に対処する行動化への意欲・態度などの意識も高まるであろう。

V 研究構想



VI 研究内容

1 ライフスキル教育についての理論研究

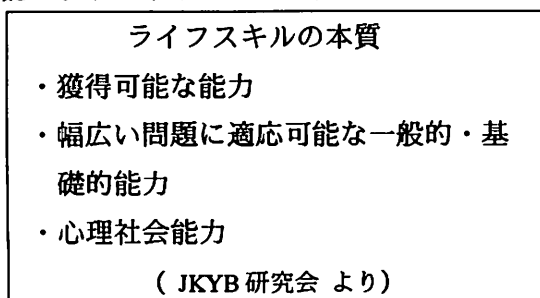
(1) ライフスキルの形成を目指した健康教育
1970年代の研究によって「知識中心型」や「脅し」の教育だけでは行動面における効果はなく、青少年の危険行動を抑制することは困難とされ、社会的要因の影響の受けやすい青少年の特性に焦点をあてた健康教育が次々と研究されてきた。その中で、社会的要因への対処スキルの形成に焦点を当てたライフスキルプログラムは、その後、多くの研究によって喫煙をはじめとする危険行動の防止に有効であることが明らかになり、今日の健康教育のモデルの一つになっている。

(2) ライフスキルの定義とその内容

ライフスキルの用語は、WHO（世界保健機構）が提唱したもので、(Life)と(Skills, 技術的能力, 技能)の2つの合成語である。

WHO 精神保健部局ライフスキルプロジェクトは、ライフスキルに関して「ライフスキルとは、日常生活で生じる様々な問題や要求に対して建設的かつ効果的に対処するために必要な心理社会能力である」と定義している。

つまり、ライフスキルとは、個々の人間が自分らしく、よりよく生きていく上での基盤となる能力である。その能力とは、下記のように示されている。



ライフスキル教育の概要については次のように述べられている。

① セルフエスティーム形成スキル

セルフエスティームが自分らしく、よりよく生きて行く為の基盤であり、セルフ

エスティームが高ければ、ほかのライフスキルにも優れ、人生上の様々な問題を建設的かつ効果的に解決する可能性が大きいこと、また、日常の具体的問題を解決する経験を積み重ねることによって、セルフエスティームが高まることが示されている。

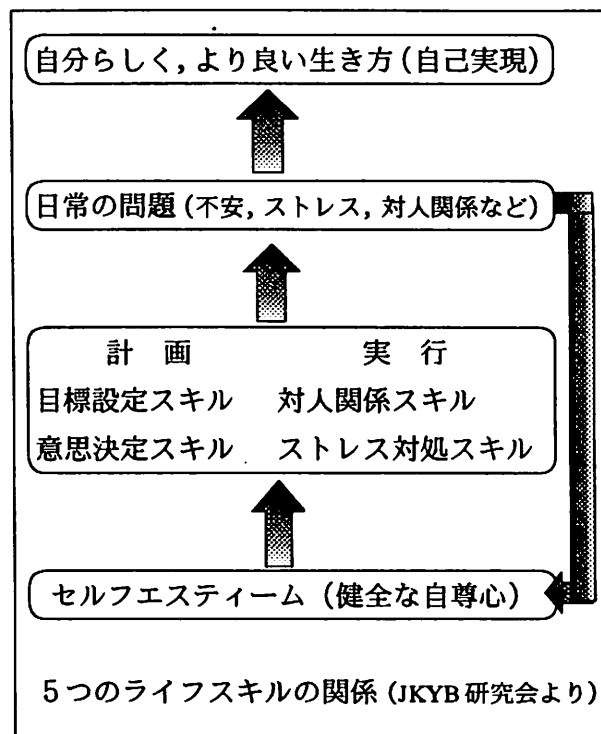


図1 5つのライフスキルの関係

② 意思決定スキル

意思決定スキルとは、「問題状況においていくつかの選択肢の中から最善と思われるものを選択する能力」である。意思決定能力に優れた人は、周囲に惑わされることなく、情報に基づいた自分の意思決定をすることができる。

③ 目標設定スキル

目標を達成する経験を積み重ねることは、意思決定スキルと並んで、セルフエスティームの自己有能感の形成にとってきわめて重要な意味を持っている。

目標設定スキルとは「現実的で健全な目標を設定、計画、到達する能力」である。

④ ストレス対処スキル

人は、生きていく限りストレスを避けることはできない。ストレスは有害な影響を与える場

合があり、全身のための刺激になることもある。

ストレス対処スキルとは「ストレスの原因と影響を認識し、ストレスの原因を少なくしたり、避けられないストレスの影響を小さくしたりする能力」である。

⑤ 対人関係スキル

良いコミュニケーションスキルを持つことは、社会的孤立を防ぎ、精神的、社会的健康の維持にとって極めて重要である。

とりわけ、危険行動を避ける為に重要なコミュニケーションスキルは、自分の権利が侵害されたり、自分の望まないことをするように人から圧力を受けたりした際の対処方法である。あわせて、他人の権利も尊重する為には、自己主張的コミュニケーションスキルを習得することが重要である。

(3) ライフスキルの有効性

コーネル医科大学のボトヴィンらが開発した Laifeskills Training プログラムやアメリカ健康財団が開発した Know Your Body プログラムをはじめとするライフスキル教育プログラムは、数多くの厳密な評価研究によって青少年の危険行動を防止する上で有効であることが明らかになっている。

ライフスキルの形成は、ただ単に思春期の様々な危険行動を防止するのに有効なだけでなく、これらからの学校教育の基本的目標である「生きる力」の第一の要素である「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、より良く問題を解決する資質や能力」第二の要素である「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性」と深い関係にある。

このことから、ライフスキルの形成は、学校教育において重要になってくると言える。

(4) セルフエスティームの定義

ライフスキルの中で、セルフエスティーム形成スキルは、人が自分らしく、よりよく生きていく上で、最も重要なスキルである。

臨床心理学者であるナサニエル・ブランデンは、豊富な臨床経験に基づいて、セルフエスティームは「自分自身が人生の挑戦に立ち向かう力があり、幸せになる価値がある人間であると実感する傾向」であるにとらえている。さらに、「自己価値（尊重）感の体験は、愛にあふれた、すこやかなコミュニティ感覚、自立しながらお互いに尊敬しあう仲間意識を可能にする」と唱えている。

また、学校におけるセルフエスティームの教育に関する専門家の間では、下記のように独自性（個性）、有能性、結合性（絆）という3つの感覚を構成要素とするという考え方も広く支持されている。

独自性（個性）の感覚：自分には自分らしい特質がある
有能性の感覚：自分にはなすべきことをなす能力があり 能力を効果的に発揮する資源があり、自分を取り巻く 環境に影響を与える機会がある
結合性（絆）の感覚：自分にとって重要な人、場所、物 との関係に満足している
(セルフエスティームを構成する3つの要素 JKYB研究会より)

(5) セルフエスティームと性教育とのつながり

「セルフエスティームの高い子どもは、自分の力を誇張もせず、卑下もせず、現実的に評価することができる。また、ある状況におかれた時にもその状況において、自分に何ができるのかを考え、それぞれの選択肢がもたらす結果を予測し、最適な方法を選択することができる。多少の不安要素があったとしても、不安感情をうまくコントロールしながら前向きに切り抜けようとし、周囲の人とも良い人間関係を形成し、必要なら問題を解決するために協力を求めることができる」と言われている。

欧米の研究によれば、喫煙、飲酒、薬物乱用、暴力や非行などの反社会的行動、抑うつや不登校などの非社会的行動など、思春期の様々な行動とセルフエスティームの間には深い関係性が認められており、わが国においても欧米と同様の結果が得られている。

このことから、高いセルフエスティームを

持つことは、自分自身を大切に、相手に対しても大切にすることができる。そして、性に関する問題に直面しても、状況を判断してうまく解決する能力へとつながっていくと思われる。

高いセルフエスティームを基盤にした上で性教育を実施することにより、より効果の高い性教育へとつながるものと考えられる。

(6) セルフエスティームの評価

セルフエスティームを客観的に測定・評価することは、問題の存在を明らかにするために必要になってくる。

測定にはいくつかの方法があるがその方法として、質問紙法であるローゼンバーグの尺度、ポーブラの尺度、ハーターの尺度がある。

今回は、全般的なセルフエスティームのレベルを測定するローゼンバーグの尺度を利用することにする。(表1参照)

表1 ローゼンバーグの尺度

ローゼンバーグの尺度

1. 私は、ほとんどの点で自分に満足しています
2. 私は、自分がまったくだめだと思えます
3. 私は、自分にはいくつかよいところがあると思えます
4. 私は、ふつうの人がやれるくらいには、いろいろなことができると思えます
5. 私には、あまり得意に思えることがありません
6. 私は、自分が役に立たない人間だと思うことがあります
7. 私は、自分が少なくともほかの人と同じくらいは、価値のある人間だと思えます
8. 私は、もう少し自分を誇りにできたらいいなと思えます
9. 私は、自分はよく失敗する人間だと思えます
10. 私は、自分のよいところに目を向けるようにしています

回答方式は3件法(1.よくそう思う 2.ときにはそう思う 3.ほとんどそう思わない)で、項目2・5・6・8・9は選択肢の数値をそのまま得点化し、項目1・3・4・7・10は「1.よくそう思う」を3点「3.ほとんどそう思わない」を1点とし、合計得点(10～30点)を求める。得点が高いほど全般的なセルフエスティームのレベルが高いことを示すことになる。また、もう一つの測定方法として下記の

視点で子ども達の行動を観察する方法がある。

高いセルフエスティームを持っていることを示す行動

- ・自分ができたことを誇りに思う
- ・人に依存しない行動をとる
- ・欲求不満に耐える
- ・新しいことに熱心に取り組む
- ・周囲に影響を与えることができている

(JKYB 研究会より)

低いセルフエスティームを持っていることを示す行動

- ・自分の才能を卑下する
- ・他者の影響を過度に受ける
- ・他者の失敗を責める
- ・すぐに欲求不満に陥る
- ・恐れや不安を生じるような状況避ける
- ・無力感を感じる
- ・自分がすかされていない、必要とされていないように感じる

(JKYB 研究会より)

この2つの視点から、セルフエスティームを測定していくのだが、たとえ家庭環境がよく、友達がたくさんいて、リーダーでうまくやっているような子どもでも、自分自身の志が高く、自分自身を見る目が厳しければ、セルフエスティームの得点が低くなることもあり得る。

このことに考慮しながら、子ども達の実態を把握することが重要である。

2 性教育に関する教材研究

(1) 生徒達を取り巻く「性」の社会状況

生徒達を取り巻く「性」に関する情報媒体が多様化し、デートDVや性暴力、性の商品化等、メディア・リテラシー教育のあり方などが取り上げられるようになってきた。これも、人間関係の希薄さやセルフエスティームの低下とも深い関わりがあるのではないかと考える。

本来「性」というものは、人と人との豊かな関係性や命の継承とつながっていくも

のである。

性に興味や疑問を持つことは、人が人としての存在をあるがままに尊重し合おうとする人権を考える上で重要な要素である。

このことから、セルフエスティームを高めるような性教育によって、自分自身は価値ある存在であり、一人一人は大切な存在なのだと思えることが重要であり、思いやりの心やよりよい人間関係づくりへとつながっていくのではないかと思う。

また、生徒達が「性」に対して興味関心を持ったときに「正しい情報の選択」が大変重要になってくる。ところが、中学生の情報源はアンケートの結果、男子はインターネット、女子は雑誌との回答も少なくはなく、正しい情報かどうかを判断する能力が必要になってくる。

広告やインターネットにおいても「目ヂカラアップ」「魅せたい体に」「たのしい恋愛」「イケテル男になるには」「無料の恋愛サイト」など、性の商品化がみられる。様々な性情報から正しい情報を読み解く力を育てる教育、正しい性の知識を学ぶための教育、セルフエスティームを高める教育が現在の社

会状況から、必要なことだと考えられる。

(2) 性に関する生徒の実態

生徒の実態に即した性教育を実施するために、6月に本校の3年生に実施した性に関するアンケート結果を分析してみた。

① アンケート結果の分析

図2「あなたは、自分が好きですか？」の項目に「はい」と回答した生徒は男子17.6%、女子15%、「いいえ」と回答した生徒は男子29.4%、女子25%と男女差はさほど見られないのに対して、図3「あなたは自分が価値ある人間だと思いますか？」の項目に男子は「はい」と回答した生徒が41.1%に対して、女子は20%、「いいえ」と回答した生徒が男子23.6%に対して女子は10%と、男女差が見られる。これは、成熟度の違い、または、わが国で古い時代につくられた固定的な性役割意識やその為に生じた性差からくるものと考えられる。

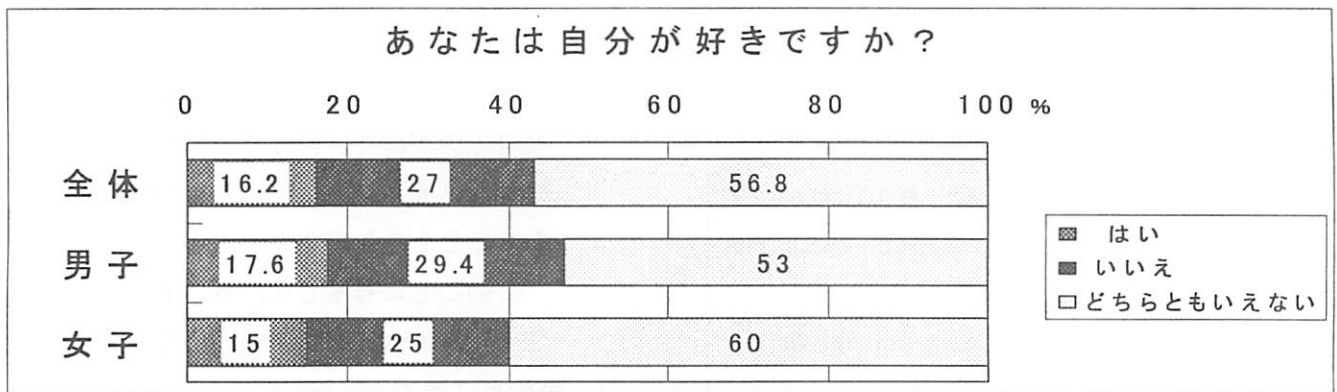


図2 あなたは自分が好きですか？

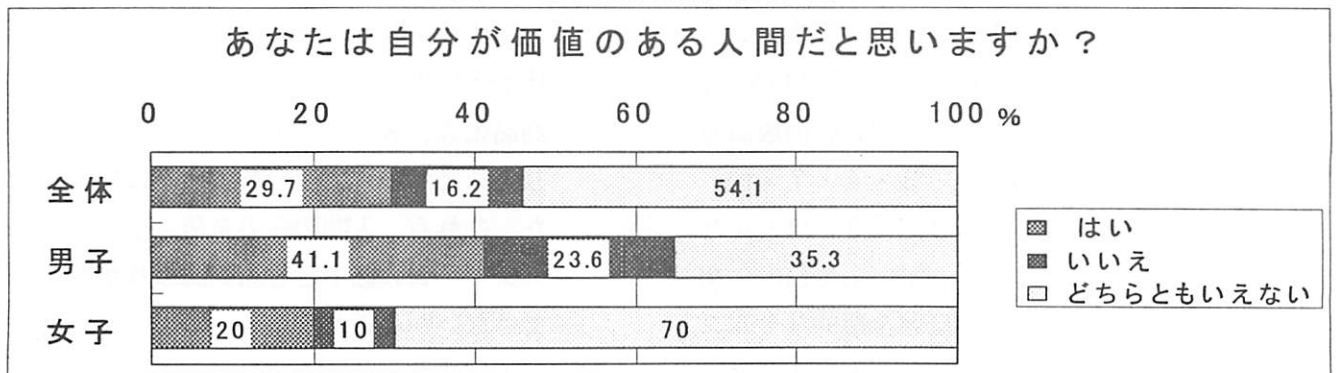


図3 あなたは自分が価値のある人間だと思いますか？

図4「あなたは現在、異性の友達がありますか？」の項目に「個人的に親しく付き合うような異性の友達がいる」と回答した生徒は、男子が17.6%、女子が35%と図2同様、男女差がかなり見られる。男子は「異性の友達は特にほしいとは思わない」との回答が多く、女子のほうが異性との交際に関して積極的な様子が見られる。

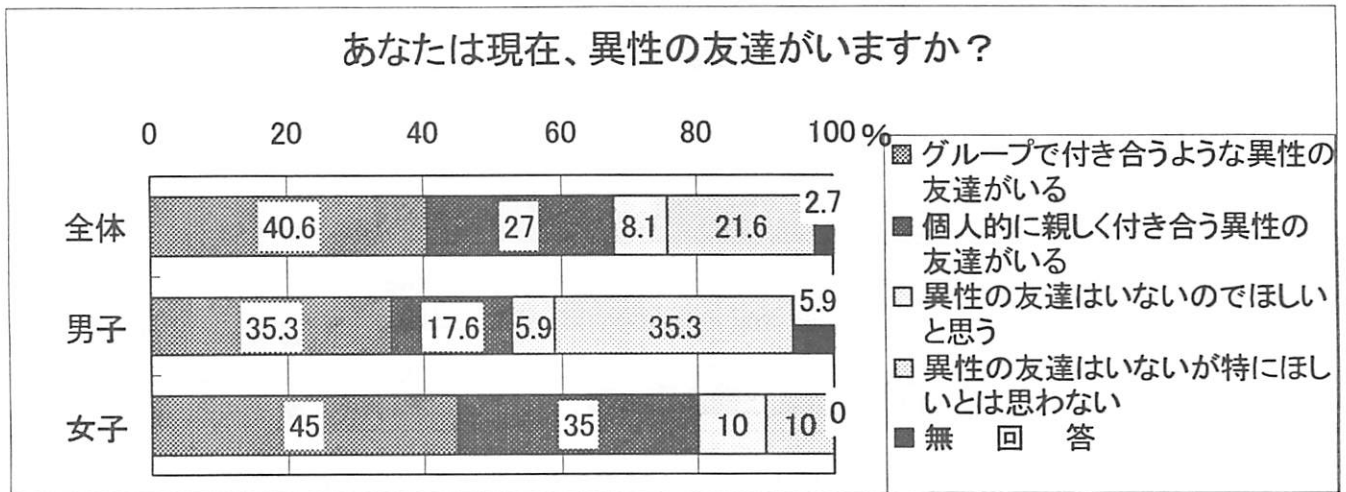


図4 あなたは現在、異性の友達がありますか？

「あなたが知りたいと思う内容を選んで下さい」の項目結果から、男子は「異性との交際や異性の心について」の内容に関心があり、女子は「妊娠や出産、異性の心について」の内容に関心があることが分かった。

図5「性に関する知識を得るとしたら主にどこから得ますか？」の項目では、男女とも学校や友達から情報を得ている生徒がほとんどである。男女に違いが見られたのは、男子はインターネットと回答した生徒が13.4%、女子は雑誌と回答した生徒が20.6%だった。知識を得る場として「学校」や「友達」との回答が半数以上を占めていることから、学校における性教育の重要性が高いと言える。しかし、友達同士の情報で知識を得た場合、正しい知識を得ているかが問題になってくると考える。

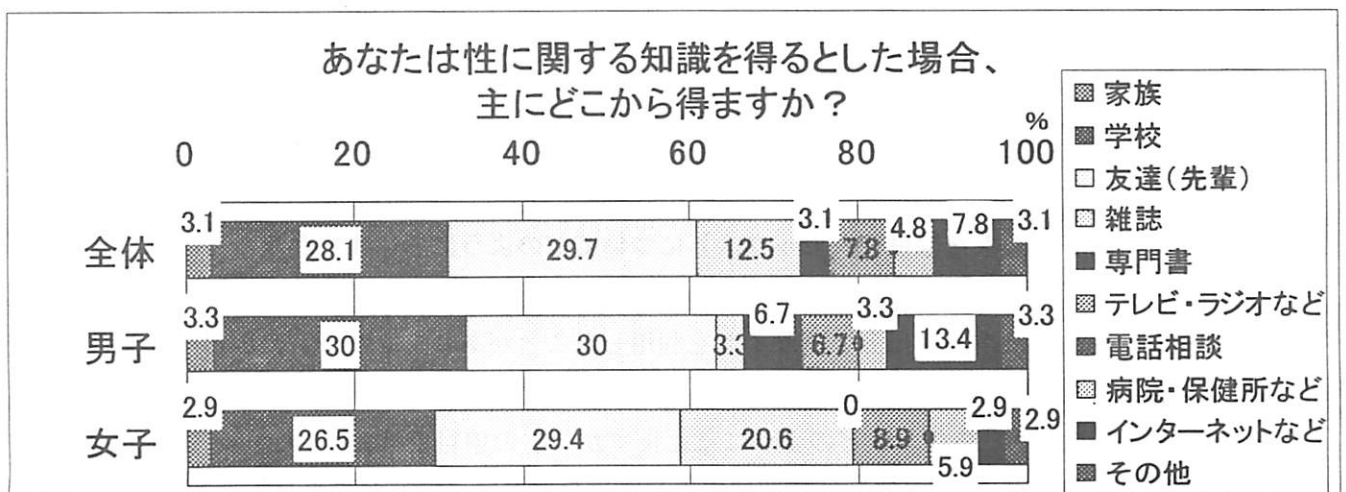


図5 あなたは性に関する知識を得るとした場合、主にどこから得ますか？

図6「あなたは性に関する悩みや問題を主に誰に相談しますか？」の項目では、男子は「誰にも相談しない」が76.5%，女子は30%となっている。女子は、「友達や先輩」という回答が多くなっている。「先生」と答えた生徒はいなかった。「性」という個人的な問題を相談できる雰囲気づくりや信頼関係づくりは非常に難しく、今後の課題となってくると考える。

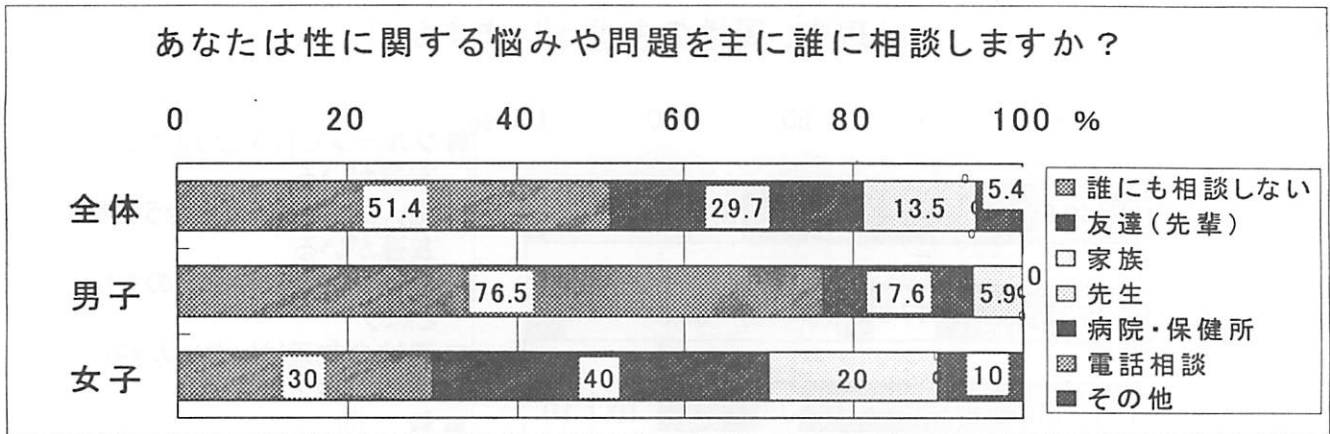


図6 あなたは性に関する悩みや問題を主に誰に相談しますか？

図7「あなたは性交（セックス）についてどう思いますか？」の項目では、「お互いに納得できれば性交しても良い」と回答した生徒が多く、男子47.1%，女子55%となっている。「お互いに納得できれば」「好きな人となら」という考えを持っている生徒が半数以上にも及ぶことが分かる。このことから、現中学生の段階でも性行動につながる危険性はあると考える。

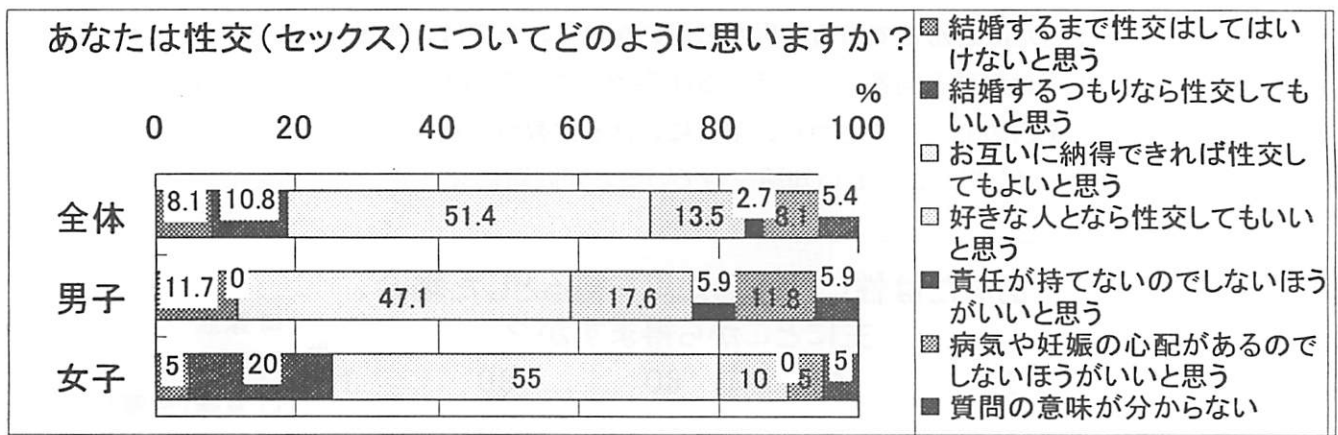


図7 あなたは性交（セックス）についてどのように思いますか？

「インターネットや携帯電話の出会い系サイトを利用したことがありますか？」の項目結果から、女子の10%が「利用したことがある」と回答している。

図8「援助交際についてあなたはどのように考えますか？」の項目では、「本人が後悔しなければよい」「本人の自由なのでどうでもいい」「周囲に迷惑をかけなければよい」と答えた生徒は47.1%，女子が50%と半数近くの生徒が現段階で、援助交際を容認しているということになる。これは、先ほどの「性についてどのように思いますか？」の項目と同様、援助交際が性犯罪とも結びつく危険行動であるとの認識が低いことの現れである。また、援助交際を「よくないと思う」と回答した生徒は半数にも満たないことから、モラルの低さが伺える。

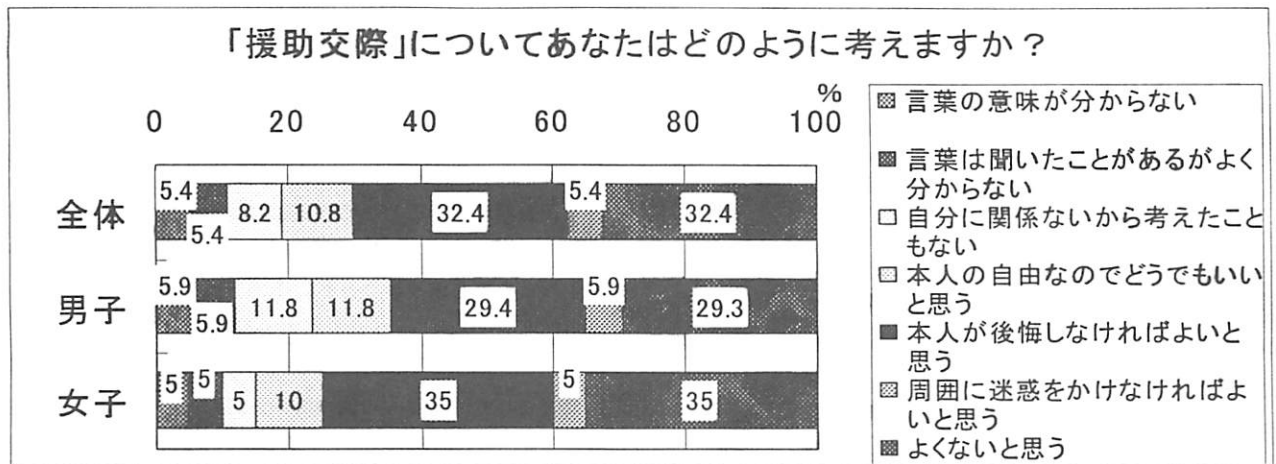


図8 「援助交際」についてあなたはどのように考えますか？

「援助交際を経験したことがありますか？」の項目では、「ある」と回答した生徒はいなかったが、「したいと思ったことがある」と回答した生徒が女子で5%いた。援助交際の危険性を認識していない生徒が行動に移行する可能性はあると考える。

以上の結果から、性教育で取り組むべき課題が浮き彫りになってきた。

② 性教育の取り組むべき課題

性教育の取り組むべき課題について次の5つが挙げられる。

- ・自分自身や相手の価値を認識し、セルフエスティームを高める
- ・性に関する問題行動に対処する意思決定スキル、対人関係スキル、ストレス対処スキルの育成
- ・性交とそれにかかわる問題と責任（生命の尊重）
- ・男女の尊重（互いを尊重しあう付き合い）
- ・マスメディアの正しい利用（援助交際やサイトなどの危険性の認識、対処）

この生徒の実態から出てきた5つの課題を組み込み、授業の計画を立て、実践に生かしていくことにより、生徒が身近な内容と捉え、より効果的な学習の実践につながるものとする。

3 クロスカリキュラムによる性教育年間計画の作成

(1) クロスカリキュラムと性教育

クロスカリキュラムとは、各教科間の枠を超えて、横断的に行う教科領域のことを言う。教科をまたがって学習することから、多角的な視野に立った考え方の育成につながるものである。

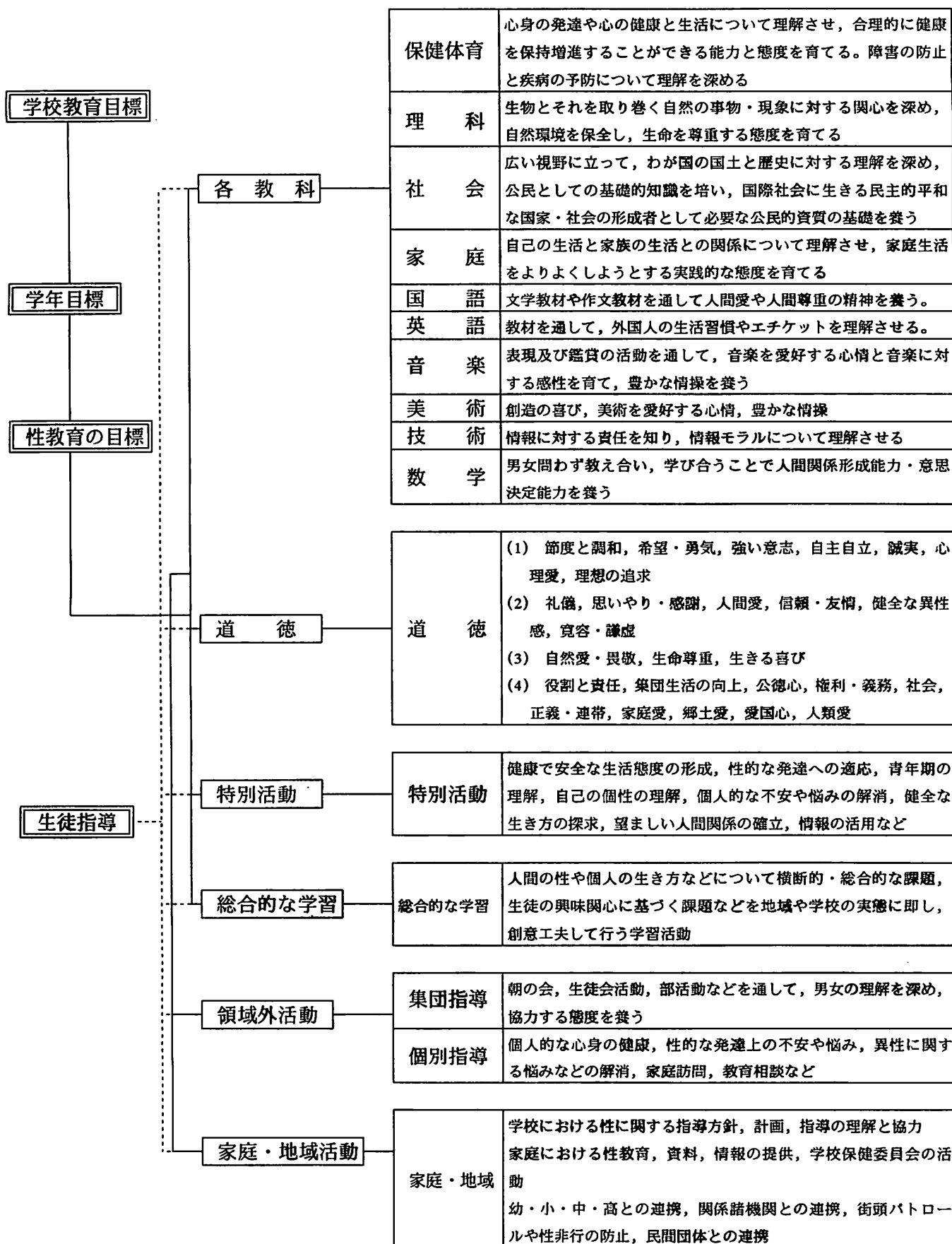
中学校学習指導要領総則には「学校における体育・健康に関する指導は、生徒の発達段階に考慮して、学校の教育活動全体を通して適切に行うものとする」と示されている。

保健体育のみにとらわれずに、すべての教育活動全体を通して行うことにより、さらに深まりのある充実した性教育の実践に結びついていくものとする。

(2) 中学校における性教育の位置づけ

中学校における性教育の位置づけは、下記のようになっている。

(新版・養護教諭の執務のてびきより一部抜粋)



(3) 性教育の各教科領域などにおける関連
 性教育の各教科領域などにおける関連を下記の表にまとめた。
 (平成20年度 浦添市立港川中学校 各教科領域年間計画より)

教科領域	関連する指導内容	関連する単元・教材
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 【1年生】 ・各器官の発達の順序性、性差や個人差、呼吸、循環器系 ・生殖機能の発達、性衝動、異性への関心、性情報への対処 【3年生】 ・感染症の原因とその予防 ・エイズ及び性感染症の予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能の発達 ・生殖に関わる機能の成熟 ・感染症の予防
理科	<ul style="list-style-type: none"> 【3年生】 ・身近な生物の観察や資料を参考にして、生物には生命を受け継いでいくための重要な働きとして生殖があることを見出す ・身近な生物の観察や資料などをもとに、有性生殖では、両親の形質をいろいろな組み合わせで受けついで新しい子がうまれてくることを減数分裂の過程と関連付けてとらえる ・染色体にある遺伝子を介して、親から子へ形質が伝わることを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の細胞とふえ方
社会	<ul style="list-style-type: none"> 【3年生】 ・男女同等の権利（婚姻の成立） ・男女共同参画社会 ・労働基準法（男女雇用均等法） ・女性と労働（女性の労働を守る法律） 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人の人間としての私達 ・基本的人権 ・働く人（労働者） ・平等権（セクハラ・DV防止法）
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 【2年生】 ・妊婦体験 ・生命の尊重 ・ジェンダーフリー ・家族について 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長（幼児の成長） ・私と家庭生活
国語	<ul style="list-style-type: none"> 【1年生】 ・原爆によって、同世代の子ども達の命が失われた事実を通して戦争の悲惨さを学ばせる ・片足を失い、義足となった少年との交流を通して主人公がともに生きることに目覚めていく過程を読み取る 【2年生】 ・母親への思慕の情と死別の悲しみを読み取る ・青春を謳歌することなく、戦争によって多くの若い命が失われたことに気づく ・出征した父との会話を想像しながら、防空壕で過ごす少年のけなげな心情を読み取ることで、戦争の悲惨さを学ぶ ・世界には、権利を侵害されながらも、けなげに働く小さな労働者達が存在するという事実を通して、この人権を守ることの大切さを学ぶ 【3年生】 ・人は、それぞれかけがえのない命を生きているのだということ学ぶ ・戦争中の「最後の昼餐」を言い出した父の思いを読み取らせることで、命の尊さを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を楽しもう 「碑」松山善三著 ・私の国語学習 「そこに僕はいた」 ・言葉のひびきを味わおう 「短歌を味わおう」 ・私の国語学習 「わたしが一番きれいだったとき」 ・私の国語学習 「僕の防空壕」 ・情報を活用しよう 「小さな労働者」 ・言語感覚をみがこう 「永久欠番」 ・読書生活を充実させよう 「ごはん」
英語	<ul style="list-style-type: none"> 【3年生】 ・ジェンダーフリー ・人権尊重について考える（スティービーワンダー） 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーオブミュージック
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 【2・3年生】 ・声部（男声パート・女声パート）の特徴や役割を意識して歌う ・歌詞の内容から「男らしく」「大人っぽく」等、イメージをさせながら声色を考えて表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・混声合唱の響き ・「合唱コンクール自由曲」
美術	<ul style="list-style-type: none"> 【1年生】 ・人権やエイズについて考え、ポスターで表現する ・人権擁護の意識を高める 【2年生】 ・望ましい生き方について考え、ポスターをデザインする 【3年生】 ・画家の生き方を通して人間の望ましい生き方を考える ・社会の様々な出来事を具象的に抽象的に表現する ・社会との関わり、他者との関わりについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン、ポスター ・デザイン、ポスター ・デザイン、ポスター

教科領域	関連する指導内容	関連する単元・教材
技術	【3年生】 ・出会い系サイトから性犯罪へ ・正しい情報利用	・情報社会と私達の責任 ・情報モラル
数学	【1・2・3年生】 ・人間関係形成能力の育成 男女問わず教え合い、学び合う ・意思決定能力の育成	・全単元
道徳	【1年生】 ・男女が互いに心を開き、相手の人格を尊重しながら理解し合い、思いやりの心をもつ態度を養う ・生命のかけがえのないさ、尊さを理解させ、自他の生命を大切に、充実した人生を送ろうとする心情を養う ・生命の尊厳について深く考え、限りあるものが互いに助け合って生きていることを理解し、感謝する心情を育てる ・生きとし生けるものの生命の尊厳と、生命あるものが互いに助け合って生きていることを理解し、感謝する心情を育てる ・正義の心を重んじ、誰に対しても公正にし、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる ・互いに助け合い励ましあうことは、よりよい社会の実現に向けての第一歩であり、共に生かされ、支えあって生きているという自覚を育てる 【2年生】 ・思春期における異性観について考え、異性に対する理解を深めると共に、互いに助け合う心情と態度を育てる ・体験ナースの活動によって生きることの喜びを見出した筆者に共感させ、生命の尊厳、かけがえのない自他の生命を尊重する心情を培う ・命がかけがえのないものであることを理解し、自他の命を尊重する心を育て態度で表すことができるようにする ・生命の尊さを理解し、様々な命のつながりに目をむけ、自他の生命を大切にする態度を育てる ・正義を重んじ、差別や偏見のない公正な集団や社会の実現に向けて、進んで努力しようとする態度を育む 【3年生】 ・男女が相互に相手の人格を尊重し、信頼することで敬愛の念を高めていくようにする ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を養う ・自らの生命の大切さを深く自覚し、生命あるものは互いに支えあって生き、生かされていることに感謝の念をもつことができるようにする ・あらゆる差別や社会的な偏見をなくし、事実を見つめる見方、考え方、公正・公平な態度を養う ・誰に対しても公正・公平に接し、社会連帯の精神をもって、よりよい社会を築く態度を養う	・「電信柱に花が咲く」 ・「あなたはすごい力でうまれてきた」 ・「葉っぱのフレディ」 ・「私たちの愛した犬」 ・『『ちがひ』に種類があるの?』 ・「手で話すことの楽しみ」 ・「恋する涙」 ・「体験ナースを通して」 ・「最後のパートナー」 ・「ゆうへ～生きていてくれてありがとう～」 ・「ガンジー」 ・「人に見せられない姿を愛する人に見せられるか」 ・「エリカ 奇跡のいのち」 ・「嘆きか、感謝か」 ・「そこに僕はいた」 ・「ぼくの夢」
特別活動	【1年生】 ・第二次性徴の発現を理解させる ・男女の体の発達の仕方 ・個人差による発達の仕方 ・性に対する正しい知識 ・エイズに関する正しい知識を理解する 【2年生】 ・思春期における心身の変化について理解する ・異性に対する心の変化について ・異性に対する相互理解の仕方 ・エイズに関する正しい知識を理解する 【3年生】 ・男女の性の欲求や感情の違いについて理解させ、健全な生活態度を身につける ・エイズに関する正しい知識を理解する	・男女の違い ・エイズ教育 ・思春期の心 ・エイズ教育 ・青年期の心 ・エイズ教育
総合的な学習	【1年生】 ・思春期の心身の変化 ・思春期についての理解をゲストティーチャーを招いて行う ・出会い系サイトについて 【2・3年生】 ・出会い系サイトについて	・ライフスキルプログラム 成長発達と心身の変化 思春期の理解 ・サイバー教室、安全教室 ・サイバー教室、安全教室

(4) 3学年 性教育年間計画

性教育の各教科領域等における関連をもとに

	保健体育	社会	国語	特別活動
4月		一人の人間としての私たち 夫婦は同等の権利 (婚姻の成立)	言語感覚をみがこう「永久欠番」 かけがえのない命を生きていることを学ばせる	【第一次 1/5】 自分を見つめ直す 自己の能力、適正、興味関心を進路選択に生かすことができる
5月		基本的人権 ・男女共同参画社会 働く人(労働者) ・労働基準法 (男女雇用均等法)		
6月				
7月				
9月				
10月			読書生活を充実させよう「ごはん」 戦争中の「最後の晩餐」を言い出した父の思いから、命の尊さを学ばせる	【本時 3/5 検証授業】 青年期の心 男女の性の欲求や感情の違いについて理解させ、健全な生活態度を身につける
11月			英語	
12月	感染症の予防 ・感染症の原因とその予防 ・エイズ及び性感染症の予防	平等権 (セクハラ、DV防止法) 女性と労働	パワーオブミュージック 人権尊重について考える	エイズ教育 ・エイズに関する正しい知識を理解する
1月				
2月				
3月				

※ 数学・・・全単元において人間関係形成能力(相手の考えを聞く等、思いや

り3学年性教育年間計画を下記のように作成した。

道徳	理科	総合的な学習	技術・家庭
<p>《心のノート》 元気ですか あなたの心とからだ ・望ましい生活習慣を身につけコンマ心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする</p> <p>そこに僕はいた あらゆる差別や社会的な偏見をなくし、真実を見つめる見方・考え方、公正・公平な態度を養う</p> <p>かけがえのない生命 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する</p> <p>人に見せられない姿を愛する人に見せられるか 男女が相互に相手の人格を尊重し、信頼することで敬愛の念を高めていくようにする</p> <p>【第二次 2/5】 エリカ奇跡のいのち 生命の大切さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を養う</p> <p>ぼくの夢 誰に対しても公平・公正に接し、社会連帯の精神を持って、よりよい社会を築く態度を養う</p> <p>嘆きか、感謝か 自らの生命の大切さを深く自覚し、生命あるものは互いに支えあって生き、生かされていることに感謝の念を持つことができるようにする</p>	<p>生物の細胞と増え方 ・生殖 ・有性生殖を減数分裂の過程と関連付けて捉える</p> <p>混声合唱の響き「合唱コンクール自由曲」 ・声部(男性パート、女性パート)の特徴や役割を意識して歌う ・歌詞の内容から「男性っぽく、女性っぽく」イメージさせながら表現する</p> <p>デザインポスター ・画家の生き方を通して望ましい生き方を考える ・社会との関わり、他者との関わりについて考える</p>	<p>【第五次 5/5】 サイバー教室(安全教室) ・出会い系サイトに関する指導</p> <p>ライフスキル教育プログラム ・セルフエスティーム形成スキル ・意思決定スキル ・対人関係スキル ・ストレス対処スキル</p>	<p>【第四次 4/5】 情報モラル ・出会い系サイトから性犯罪へ 情報社会と私たちの責任 ・正しい情報の利用</p>

りの心の育成)、意思決定能力を取り入れている

Ⅶ 授業実践

1 主題名 「お互いを尊重した交際について考える」

2 題材設定の理由・生徒観

生徒達はこれまでに保健体育や家庭科、理科、道徳、特別活動などの学習の中で、命や性についての学習を経験してきている。しかし、実施したアンケートの結果、「あなたは性交についてどのように思いますか？」の項目では、男子 47.1%、女子 55%の半数以上の生徒に「お互いに納得できればいい」「好きな人とならいい」との回答がみられた。

このことから、授業で学んだ知識はあるが、自分のこととして受け入れていない為に、深く実生活に結びついていないことがあるのではないかと考えた。

そこで、アンケート結果などを参考にし、生徒達の実態に即した内容で、かつ自分のこととして受け入れていけるような授業内容を取り入れることで、自分自身に置き換えて捉え、考え、適切な行動へと結びつけていけるのではないかと考え、本題材を設定した。

この中で、性交に伴う「責任」の意味や重さ

について理解させ、相手の気持ちを尊重しながら適切な判断と行動がとれる態度を養いたい。

3 指導観

前回の道徳「命をみつめる」で生徒からでてきた「責任」ということに焦点を当てながら進めていく。

キーワードは「責任」。自作の資料の設定は、クリスマスイブの彼氏と彼女。本日はクリスマスイブであることが、よりリアルに自分に置き換えて捉えられるのではないかと考える。

2人の性行動に伴う「責任」を導き出せるように、また、自分のこととして捉える事ができるように、生徒のアンケート結果から迫っていく。

自分で考え、さらにグループで意見を出し合い、お互いに学びあうライフスキルの手法を取り入れることにより、知識の広がりやライフスキルの「意思決定」「対人関係」の能力が高まり、高いセルフエスティームの形成が期待できると考える。

また、クロスカリキュラムでの授業により、次の授業へのつながりをもたせることで、さらに深まり、知識、意思決定、行動化へと発展していくであろうと考える。

4 指導計画

期 日	関連教科・単元	授 業 の 内 容	目 指 す 生 徒 像
12月5日(金) 3校時	特別活動 自分を見つめ直す	自分自身を見つめる ・自分のいいところさがし ・相手のいいところさがし ・周囲からみた自分自身のいい所を発見する	・自分自身の長所や欠点を認め、「自分らしさ」をアピールすることができる。 ・お互いを知り、認め合うことができる。 【セルフエスティーム形成スキル】 【対人関係スキル】
12月15日(月) 5校時	道 徳 命の尊さ	命をみつめる ・3キロの肉のかたまりと3キロの命ある赤ちゃんの値段は？ ・10代の妊娠中絶の現状からのグループワーク(体験談から男女の気持ちを考える) ・母からのメッセージ(映像)	・命の尊さを認識し、自分や他人を尊重することができる。 ・10代妊娠中絶の現状からどうすればよいのか考え、行動することができる。 【意思決定スキル】 【セルフエスティーム形成スキル】
12月24日(水) 3校時 (本時)	特別活動 青年期の心	お互いを尊重した交際について考える ・手をつないだ男女の頭の上のっている袋にはどんな意味があるのか？ ・好きならば、性交しても良いのか(アンケートの結果からのグループワーク) ・行動に伴う「責任」を考える	・性交に伴う「責任」の意味や重さについて理解し、相手の気持ちを尊重しながら行動することができる。 【意思決定スキル】 【対人関係スキル】 【セルフエスティーム形成スキル】

期 日	関連教科・単元	授 業 の 内 容	目 指 す 生 徒 像
1月13日(火) 2校時	技 術 情報社会と 私達の責任	情報社会と私達の責任について考える ・マスメディアの正しい利用 ・パソコンや携帯サイトによる犯罪 ・援助交際について考える (アンケート結果からのグループワーク)	・マスメディアを上手に活用し、正しい情報を得ることができる。 ・パソコンや携帯サイトなどによる詐欺や援助交際などの性被害の実態を知り、危険性を認識し、行動することができる。 【意思決定スキル】 【対人関係スキル】 【ストレス対処スキル】
1月16日(金) 3校時	総合的な学習 出会い系 サイトについて	正しい性情報の選択について考える ・広告分析 (グループワーク)	・身の回りにあふれる性情報の中から、正しい性情報を選択し、情報を得ることができる。 【意思決定スキル】 【対人関係スキル】

5 本時の指導

(1) 目標

- ① 性交に伴う「責任」の意味や重さについて理解することができる。
- ② 相手の気持ちを尊重しながら適切な判断と行動がとれる態度を養う。

(2) 授業仮説

- ① 生徒の身近な教材を利用することで、自分自身のこととして捉え、真剣に考えることができるであろう。
- ② 自分で考え、さらにグループで意見を出し合うことでより深く意識が広がっていくであろう。

(3) 準備するもの

- ① 資料1 手をつないでいる男女の頭に袋がのっている図
- ② 資料2 性に関するアンケートの結果グラフ
- ③ 資料3 あなたならどうする!?
- ④ フラッシュカード「好きならば性交してもよいのか」
- ⑤ 資料4 ワークシート
- ⑥ 資料5 まとめのワークシート
- ⑦ 模造紙
- ⑧ パソコン、プロジェクター

(4) 展開

	学 習 活 動	教 師 の 支 援		留 意 点 ・ 準 備 物
		T 1	T 2	
導 入 (5)	・頭の上の袋はどういう意味が含まれている図なのか考える。		・頭の上ののっている袋はどういう意味が含まれているのかブレーストーミングで答えさせる。 (答えは授業の後半に発表する)	・資料1 手をつないでいる男女の頭の上に袋がのっている図をパワーポイントで提示

展 開 (40)	<ul style="list-style-type: none"> ・性に関するアンケートの結果グラフを見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業ででてきた「責任」と結びつけながら、グラフを提示し、説明を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料2 性に関するアンケートの結果グラフ「あなたは性交についてどのように思いますか」をパワーポイントで提示
	<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたならどうする!？」を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたならどうする!？」を朗読する。 ・フラッシュカード「好きならば性交してもよいのか」を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3 「あなたならどうする!？」 ・フラッシュカード「好きならば性交してもよいのか」
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布し、「好きならば性交してもよいのか」自分の考えをワークシートに記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数名に指名し、発表させる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・発表に対してのT1からの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表に対して質問をし、考えを深めさせる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで意見を出し合い、考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えさせ、まとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの代表が発表し、黒板に掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの代表を指名し、発表させ、黒板に掲示させる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示資料1の答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示資料1の答え合わせをし、性交には「責任」が伴うということを考えさせる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料1をパワーポイントで提示
	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返りながら、まと 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめのワークシートを配布し、机間指 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料5 まとめのワー

ま と め	めのワークシート を記入する。 (感想・自己評価)	導を行う。		クシート
(5)	・感想を発表する。 ・授業を振り返る。		・指名し、男女一人ず つ感想を発表させる。 ・授業の振り返りをし てまとめさせる。	

(5) 評価

- ① 性交に伴う「責任」の意味や重さについて理解することができたか。
- ② 相手の気持ちを尊重しながら適切な判断と行動することの重要性について考えることができたか。

(6) 授業仮説の考察

- ① 生徒の感想や事後のアンケート結果から、自分自身の事として捉え、性交に伴う「責任」の意味を真剣に考え、理解することができたと思われる。
- ② 自分の考えをグループで出し合い、いろいろな意見を聞くことにより、考えが深まっている様子が見られ、グループワークでの実践は効果的であったと思われる。さらに、ディベート等で授業を行うことにより意識の広がり期待できると思われる。

Ⅶ 研究の考察

1 作業仮説(1)の検証

ライフスキル教育のセルフエスティーム形成スキルや意思決定スキル、対人関係スキル、ストレス対処スキルを実践することで、自他を大切に、よりよい人間関係を築いていくことができるであろう。

(1) 手だて

- ① 第1次の特別活動「自分を見つめ直す」では、ワークシートで自分自身を見つめ、その後、自分の手形にグループのメンバーからみたいい所を記入させた。

【生徒達のワークシート】

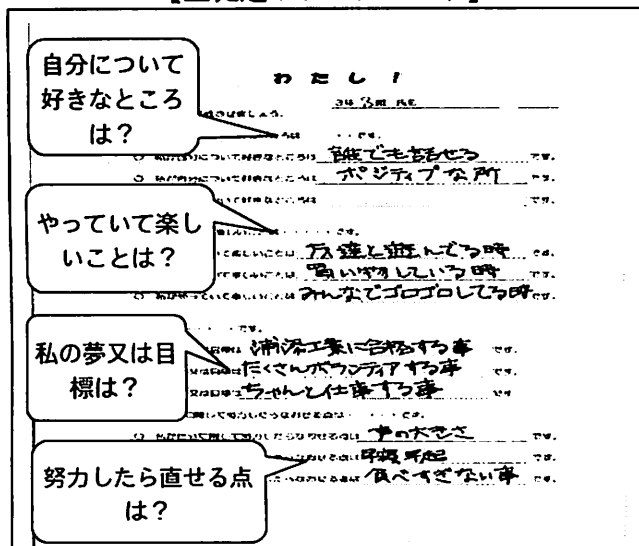


図9 第一次の授業「自分を見つめ直す」ワークシート1

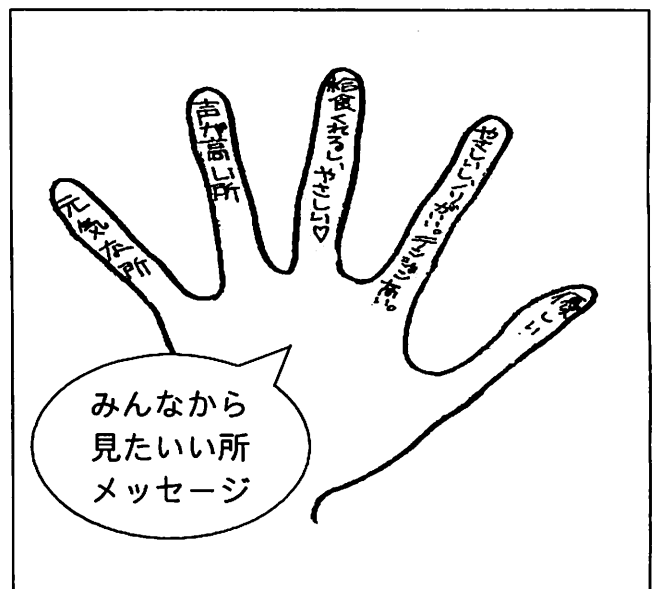


図10 第1次の授業「自分を見つめ直す」ワークシート2

- ② 第3次の特別活動「青年期の心」では、身近な問題として捉える事ができるように生徒の事前アンケート結果を元に性交について自分の考えを深めてからグループでの話し合い活動を行った。
- ③ 5回の授業すべてを男女別のグループワークで実施した。

(2) 結果

- ① 第1次の特別活動「自分自身をみつめる」では、主にセルフエスティーム形成スキル、対人関係スキルを取り入れた授業を行った。

生徒達の感想や検証前、検証後のアンケートは、次のような結果となった。

ア 生徒達の感想から

- ・人のいいところを考えると、いろいろ出てきて、意外に見えないところまで知ることができた。人に言われて、自分の分からなかった所を知った。自分自身の改善するべきところを見直せてよかった。お互いのことが分かり合えて、より友情を深めていけたらいいと思いました。
- ・みんなが自分のことをこのように思っているんだということが発見でした。自分自身に自信が持てたような気がしたので、自分に自信がなくなったときには、いいところさがしをして自信をつけようと思いました。

イ 検証前と検証後のアンケート結果から

- ・「あなたは自分が好きですか」の項目に対して、「はい」と回答した男子は検証前 17.6%に対して検証後には 23.5%、女子は検証前 15%に対して検証後に 16.7%、全体では検証前 16.2%に対して検証後には 20%という結果となった。(図 11 参照)

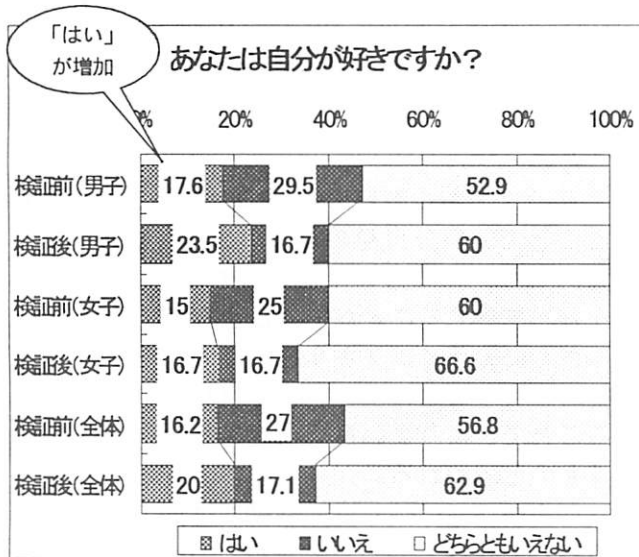


図11 あなたは自分が好きですか?

- ・「あなたは自分が価値のある人間だと思いますか」の項目に対して、「はい」と回答した男子は検証前 41.2%に対して検証後には 52.9%、女子は検証前 20%に対して検証後には 44.4%と倍の結果となった。(図 12 参照)

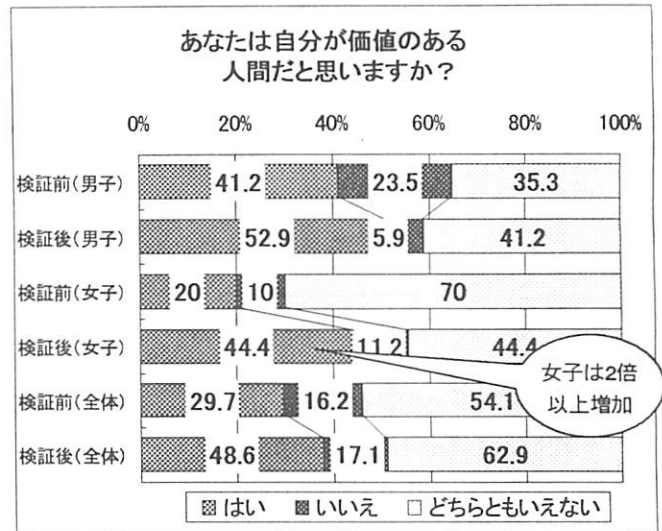


図12 あなたは自分が価値のある人間だと思いますか?

- ・セルフエスティーム測定でも図 11, 図 12 と同様の結果となった。男子はセルフエスティームのレベルを表す数値 (10 ~ 30) の内、19 以上の数値を示しているのは、検証前 58.8%に対して検証後 76.4%、女子は検証前 57.9%に対して検証後 84.2%とセルフエスティームのレベルが全体的に高くなっているのが分かる。(図 13 参照)

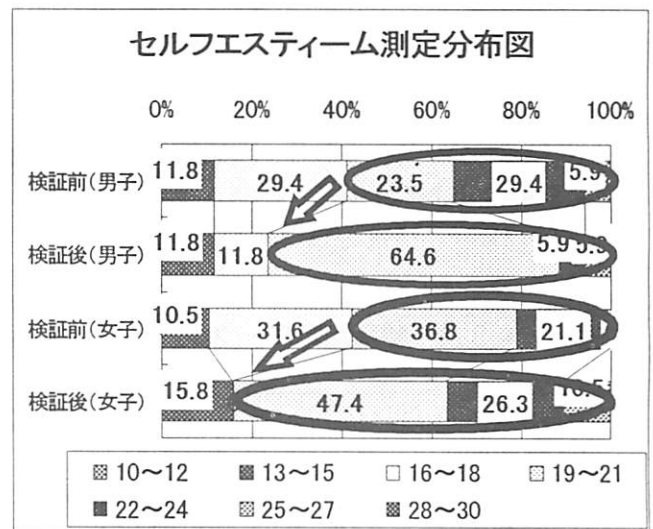


図13 セルフエスティーム測定図

- ② 生徒の事前アンケート結果の活用によって、一人一人が真剣に考え、自分の考えを出し合い、グループの話し合い活動がスムーズに行われている様子が見られた。(図 14・15・16 参照)

○ 好きならば性交してもいい?

好きならば性交してもいい? ちがらない 7/8な部分が多い

○ 理由を記入しましょう。

お互い同じ好きだから、してもいいと思う。
でも、若すぎて前の授業でやったように中絶しかなる場合もあるから、7/8な部分もある。
だからよく分からない。

理由

図14 第3次 特別活動ワークシート 1

○ 好きならば性交してもいい?

好きならば性交してもいい? 好きならば性交してもいい?

○ 理由を記入しましょう。

好きならば性交してもいいから、出来たらどうするの?、これも。
好きで感情はいいから、子供を育てられたい。
好きでも、嫌がる子供もいるから、幸いのは、彼氏の方から結局、彼氏も好きをさせてしまう。
性交をするなら、子供を育てることが出来るなら、してもいいとおもう。

理由

図15 第3次 特別活動ワークシート 2

○ 好きならば性交してもいい?

いいと思う 好きならば性交してもいい?

○ 理由を記入しましょう。

個人の自由だとは思いますが、そういうこと以外でもお互いの愛を確かめる方法があると思うから、無理にまどする必要はないと思う

理由

図16 第3次 特別活動ワークシート 3

③ すべての授業を男女別のグループにすることによって、意見が出やすくなり、グループのみんなで活発に意見を言い合う姿が見られた。又、他人の意見を聞く事によって自分自身の考えを深めることができたようである。



図17 グループワークの様子

【生徒の感想 (グループワーク)】

- ・自分達のグループは意見が2つに分かれたが違う意見が聞けて勉強になった。最終的には、(性交は)個人の責任なんだと思った。
- ・みんな意見が違って、いろいろな考えがあると思いました。真剣に話し合っで発表できて良かったです。

(3) 考察

ライフスキル教育の4つのスキルを取り入れることで、自分自身の存在の大切さを実感し、認められ、認め合うことで、お互いを大切な存在として感じる事ができたようである。

さらに、ライフスキルを取り入れた授業を継続的に行うことにより、自分自身で真剣に考えることで、よりよい意思決定へとつながっていくものと思われる。

グループでの話し合い活動では、男女別にすることで「性」の問題に対しての意見が出やすくなり、グループでお互いの意見を聞き、学びあうことで新たな発見があり、より深く考え、行動に結びつける事へとつながったのではないと思われる。

生徒達の感想やアンケート結果から、個々のセルフエスティームが高まることによって周囲との関係もよくなり、よりよい人間関係を築くことができるのだと実感し、今後も継続していくことで、ライフスキル教育の有効性が期待できるものと考えられる。

2 作業仮説(2)の検証

クロスカリキュラムによる性教育年間計画を作成することにより、年間を通して計画的、継続的かつ実践的に取り組むことができ、性に関する様々な問題に対処する行動化への意識も高まるであろう。

(1) 手だて

① 第2次の道徳「命の尊さ」では、命の重みを実感させるため、実際に肉のかたまり3キロと命ある3キロの赤ちゃん(体験人形)の重みを体験させた。

② 第4次の技術「情報社会と私たちの責任」、第5次の総合的な学習「出会い系サイトについて」では、生徒達の身近に起きている問題を取り上げて授業を行い、自分達が学んだことを元に、広告分析を行った。

(2) 結果

① 第2次の道徳「命の尊さ」では、自分自身や相手の存在の大切さを再認識し、考え、責任を持って行動することの重要性を学んだという感想が多く見られた。

【生徒達の感想】

- ・今日の授業で改めて、命の尊さ、大切さに気づくことができました。いろいろな困難を乗り越えて生まれてくる命や途中で死んでしまう命もあります。そんな中で自分がこんなに健康に生まれてきたということは、とてもすごいことだと分かりました。このように生んでくれた親に感謝しなければならぬと思います。
- ・命についてとてもよく考えさせられました。
みんな、自分のお母さんが大事に育ててくれた大切な命。母は「生まれてくれてありがとう」と言うけれど、私は「生んでくれてありがとう」と言いたいです。
- ・お金に変えることのできない命。
しっかり後先を考えた行動が本当に必要だと思いました。体験談のようにならないように、命を大切に、責任ある行動ができるようになりたいと思います。

② 第4次技術(情報)、第5次総合的な学習では、グループでの広告分析によって、出会い系サイトの危険性や正しい性情報の選択の大切さを真剣に考える様子が見られた。(図18参照)



図18 第5次 授業で使用した広告資料と生徒による広告分析

【生徒達の感想】

広告は、利益を得るために見る人の興味を誘えるような内容で作られていることが分かった。出会い系サイトに1日250万人の人がアクセスしていると書かれていて安全な内容だと思うけど、じっくり見るとデメリットが小さな文字で書かれていたりして危険だと思いました。

これからは、正しい情報の選択ということを考えて、信頼性の高いものを選んでいきたいと思いました。

(3) 考察

今回は、特別活動、道徳、総合的な学習、技術(情報)の4教科でそれぞれの目標やねらいにそった教科の特性を生かした授業を行った。

道徳では、命の尊さを実感させる為に肉のかたまり3キロ、3キロの命ある赤ちゃん(教材人形)の重みを体験させ、それぞれの値段を問いかけることで、「命」について深く考えさせる工夫をした。

技術(情報)では、情報社会での責任について教科のねらいに沿って、パソコンや携帯サイト等による援助交際などの性被害の実態や危険性を認識させ、情報社会による責任について考えさせた。

総合的な学習では、広告分析を行い、グループワークで話し合った内容をまとめ、広告にだまされないためのメッセージをみんなに発信していこうということで発表させ、行動化へのつながりを持たせた。

クロスカリキュラムによる性教育を実践したことで、生徒達の意識の継続や問題解決能力の高まりが見られた。

さらに、すべての教科でのクロスカリキュ

ラムの計画を作成し、様々な教科の特性を生かして性教育とのつながりを持たせ、それぞれの教師自身が意識して授業を行うことで、年間を通した性教育の実践の効果がより高まっていくと考える。

IX 成果と課題

1 成果

- (1) セルフエスティームを高めるために、ライフスキルのプログラムを取り入れ、自分自身を見つめ、相手のよさを見つめることは、生徒達の反応から、思春期である中学生には、とても必要で大切なことだと実感した。
そのことで、自分自身を大切にすることにつながり、自分の性や命の大切さを実感することができ、相手を思いやる気持ちへとつながっていくことができた。
- (2) グループワークを行うことにより、グループで意見を出し合い、お互いの意見を尊重しながら話し合うことができ、自分の考えを深め、伝え合うことができるようになった。
- (3) クロスカリキュラムで性教育を行うことにより、各教科と性教育の関連が明らかになった。それにより、授業でのつながりをもつことができ、性に対する意識を継続することができた。

2 課題

- (1) 担任や教科担任と連携した授業実践を行う為には、各教科の特性を生かした教材研究をしていく必要がある。
- (2) 1年生から段階を踏んだ継続性のある性教育を実践することで、セルフエスティームが高まり、性に関する意識の向上やよりよい行動化へとつながっていく。そのためにも、1年生から3年生までの性教育クロスカリキュラムの年間計画を作成し、実践していく必要がある。
- (3) 生徒の性の意識には、家庭や地域社会の影響が大きい為、より効果を高めるためには、学校や家庭、地域社会との連携が必要である。

おわりに

「自他を大切にし、よりよい人間関係を築いていく生徒」を目指して「ライフスキル教育を活用したセルフエスティームを高める授業の工夫 ～クロスカリキュラムによる性教育の実践を通して～」をテーマに半年間、研究を進めてきました。

授業に不慣れな私だったが、本校のキャリア教育の取り組みのおかげで、ライフスキルプログラムを

活用した授業はスムーズに進められ、授業のたびに生徒達に助けられ、グループワークでの生徒達からでてくる発想には、毎回びっくりさせられました。

今回の研究内容は、養護教諭としてずっと課題として持ち続けていたもので、この機会に研究員として学ぶことが出来、勧めてくださった港川中学校の東恩納校長には大変感謝しています。

校長の常日頃からの言葉である「養護教諭も『教諭』という以上、授業に入っていくことはあたりまえ」という言葉が後押しになって、養護教諭の立場としての授業への参加や学校教育としての保健教育のあり方など様々なことを学ぶことが出来ました。

また、研究することの楽しさを実感することが出来、今後、養護教諭として積極的に保健教育の充実を目指して取り組んでいける自信にもつながりました。

この半年間の研究で、一つ一つ丁寧に温かく指導して下さった宮城むつみ所長、石川博基係長、比嘉清喜指導主事、研究所の皆さんには心から感謝申し上げます。また、助言や励ましの言葉を頂いた教育委員会の先生方、検証授業等におけるご指導と温かい励ましを頂いた奥間朝順指導係長にも感謝申し上げます。そして、インフルエンザ流行の時期にもかかわらず、同じ養護教諭としての立場から、温かく細やかなご指導と検証授業のたびに足を運んでアドバイスを下さった仲西中学校の谷川選子教諭、神森中学校の新本律子教諭にも心から感謝申し上げます。

何より、真剣に授業を受けてくれた港川中学校3年8組の生徒達や職員の皆さんにはたくさんの協力を頂いたことを感謝申し上げます。

最後に共に研究をすすめてきた研究員の皆さんとの出会いに感謝しています。幼・小・中とそれぞれですが、同じテーマを持つての研究に学ぶことが多々ありました。大変お世話になりました。

ありがとうございました。

